

【資料6】アプローチカリキュラム

A 健康な心と体 B 自立心 C 協同性 D 道徳性・規範意識の芽生え E 社会生活との関わり F 思考力の芽生え
G 自然との関わり・生命尊重 H 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 I 言葉による伝え合い J 豊かな感性と表現

中津市立三保幼稚園

期	9月～10月	11月～12月	1月～3月	
アプローチ期に育てたい資質・能力の基礎	知識や技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な運動遊びに興味を持ち、自分の目標に向かって挑戦する。(A) ・新しい事や少し難しい事こもやってみようとする。(AB) ・週の予定や1日の流れが分かり見通しを持って生活する。(B) ・生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる。(H) ・木の実や落ち葉・山の木々の変化等に気づき、自然の美しさに気付き、季節の移り変わりに興味や関心を持つようになる。(G) ・身近な用具や機器の適切な使い方を知り、遊びに使えるようになる。(F) 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬に健康生活に必要な習慣や態度・生活リズムを身に付ける。(A) ・正しい姿勢に関心を持ち、自分で気を付ける。(A) ・園生活の中で見通しを持ち、時間を意識して行動する。(B) ・クラスやグループの中で役割を持ち目的を持って遊びを進める。(C) ・遠足等で行く地域の公園での過ごし方が分かり、公共のマナーやルールを守る。(DE) ・材料や用具を目的に合わせて選び、伸び伸びと表現し作品を大切に扱う。(J) 	
	思考力・判断力・表現力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある事や関心のある物を調べたり考えたりする。(F) ・身近な事象を見たり触れたり扱ったりする中で、発見したり感動したりする。(G) ・日常生活の中で数量・図形・位置・時間に関心を持ち、生活の中で使っている。(H) ・リズムカルな動きを、思いっきり体を使って表現する。(J) ・友だちと歌や楽器遊びをする中で、曲の感じやリズムの変化を楽しむ。(J) ・考えた事や感じた事を相手に分かるように話す。(I) ・絵本の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう。(J) 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の身近な事象や自然に関わり、その感触や不思議さに感動したりそれらを取り入れたりして遊ぶ。(G) ・自分たちの生活の場を、みんなで協力して美しく飾ったり使いやすく整えたりする。(BC) ・友だちと一緒に身近な環境に関わり、予想したり確かめたりふり返ったりする。(F I) ・日常生活に必要な文字・数等に関心を持ち遊びの中に取り入れる。(H) ・音楽に親しみ、感じたことを音やリズムや動きで表現する楽しさを味わう。(J) 	
	学びの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと積極的に体を動かす活動を取り組み、ルールを守って一緒に遊ぶ充実感を味わう。(AB) ・友だちと役割を分担したり力を合わせたりして、遊びや生活に意欲を持って取り組む。(C I) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や図形が自分たちの表現したい事を伝える手段である事を知り、取り入れて遊ぶ。(H) ・友だちと一緒に試行錯誤しながらアイデアを出し合って、共通の目的を達成しようとする。(C F I) ・絵本や物語に親しみながら言葉を豊かにし、自分の言葉で表現することを楽しむ。(I J) ・自分の気持ちを相手に分かるように話したり相手の考えを受け入れたりし、折り合いを付けて遊ぶようになる。(I) ・遊びの音画や手順を友だちと話し合い、相手の気持ちに気付き協力して遊びを進める。(C I) ・友だちと信頼関係を持ち、遊びや仕事を最後までやり通す。(CD) ・様々な素材や用具を利用してイメージを表現したり、友だちと協力したりして製作に取り組む。(C F I) ・高齢者や身近な人々と関わり、親しみを持って心を通わせる。(E) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとの対話を楽しみ気持ちの伝わっていく心地よさを味わう。(I) ・色々な体験を通してイメージを膨らませ、感動したことを伝え合う。(I J) ・友だちの良さに気付き、協力して遊びを進展させる。(C I) ・自分たちで決めたルールを守って集団遊びを楽しむ。(CD) ・トラブルや困ったことを自分たちで解決していこうとする。(D I) ・自分のイメージを動きや言葉等で表現し、演じて遊ぶ楽しさを味わう。(J) ・入学への喜びや期待を膨らませ、成長の自覚を持って行動する。(B) ・小学生と関わることで、安心して就学を迎えようとする。(BE)
	学びの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている友だちに気付き、助けたり励ましたりする。(CD) ・自分が役立っている事を喜び、色々な仕事に取り組もうとする。(BD) ・身近な動物の命に気付き、大切にすることを覚える。(G) ・運動会練習での小学生とのふれあいを楽しみ、喜んで活動する。(E) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を使った遊び(木の実・落ち葉等) ・挑戦遊び(竹馬・渡り棒・登り棒・鉄棒・ホッピング・大縄跳び・短縄跳び) ・伝承遊び(けん玉・お手玉・こま・あやとり・まりつき等) ・紙芝居作り・忍術ごっこ・お店ごっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遊び(しりとり・なぞなぞ等)・お正月遊び(かるた・すごろく等) ・運動遊び(ドッジボール・サッカー等)・郵便ごっこ・雪氷遊び ・表現活動(オペレッタ・劇・合唱・合奏等)・卒園制作 ○小学校探検(5年生) ○授業見学(1年生) ○幼稚園の友だちを招待しよう(1年生 生活科) ○お別れ遠足
○小学校との連携活動	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動会・幼稚園運動会・運動遊び(リレー・団体競技等) ・自然を使った遊び(虫取り・色水等) ・菜園活動(冬野菜種蒔植え・芋掘り) ○小学校運動会(1・2年生とダンス・開会式と応援合戦) ○幼稚園運動会(1年生と競技) 			
環境構成と教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会に向けた練習の時間が必要になるため、無理にならないよう1日の時間帯を考える。 ・競い合ったり数えたり比べたりする中で、数や量・順立や位置に興味を持たせていく。 ・小学校との運動会の経験から、やってみたいという興味や意欲を大切に、幼児なりの役割や係の仕事に取り組ませ、やり遂げた達成感や自信をもたせるようにしていく。 ・自分たちで相談したり協力したりしながら、生活や遊びが楽しめるような場や時間の工夫をする。 ・我慢や頑張りや期待される場面が出てくるので、一人一人の様子に気を配りリラックスできるように接していく。 ・相手の気持ちに気付けるように、子供同士が話し合う場面を大切にすると共に、その子なりの言葉で表現する姿を見守り、人の話を聞く事の大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や体験の中で得た感動を伝え合ったり共感し合ったりする。又、伝えられる場を設ける。 ・話し合いの場で消極的な子は、思いを引き出しやすい雰囲気をつくる。 ・それぞれの子供の得意不得意を把握し、一人一人が挑戦する姿を温かく見守り、出来るようになった事を他の子への刺激としていく。 ・様々な活動の中で、子供同士のつながりを更に深められるよう援助する。 ・自分たちで進めていく活動を通して、自己を発揮したり気持ちをコントロールしたりできるようにしていく。 ・自分の思いと友だちの思いを、お互いに認めあえるような関係が築けるよう援助し、葛藤したり試行錯誤したりする姿を受け止めていく。 ・保育室等に文字環境を増やし、関心が高まるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体やグループで意欲を持って取り組んだり、自分たちで遊びや行事を計画したり進展させたりする場を用意する。 ・、子供たちが自分たちの成長を自覚でき、成長した姿を周りの人に見てもらえるような場を設ける。 ・自然の中で、試したり発見したり考えたりする楽しさを十分に味わいながら、科学的が培えるよう働きかける。 ・創作や表現を楽しめるような活動を取り上げ、協同する楽しさや充実感を味わえるような機会を設ける。 ・文字や数遊びが楽しめる教材を準備し、子供の興味に合わせて出していく。 ・小学校に出かけて、小学生との交流の場を計画し、安心して入学できるようにする。 ・卒園までの日々を大切に、園生活を振り返りながら、友だちという楽しさや一緒に過ごす心地よさを共に味わう。 	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けの生活リズムを整えるよう配慮をお願いします。 ・運動会等の機会を通して、保護者も子供と楽しみながら、たくましく成長している事を実感してもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時や懇談等でこれまでの子供の成長を知らせたり、体調管理に気を配ったりすることの大切さを伝える。 ・就学に向けての心配事等を聞き、必要なアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を通して、子供たちの成長を感じ取ってもらう。 ・1日の生活に見通しを持った行動ができるように、また就学の心構えや生活習慣の見直し等、園と家庭との協力体制をお願いします。 	